

消化器疾患における遺伝子変異・発現・制御機構の解析

1. 研究の対象

東京大学医科学研究所附属病院で2010年1月1日～2024年6月30日に消化器疾患で東京大学医科学研究所附属病院を受診され、東京大学医科学研究所附属病院で実施していた下記の研究協力にご同意いただき、且つ、下記研究終了後もご提供いただいた試料（手術検体、内視鏡検体、血液検体）及び情報を倫理審査委員会で承認を受けた医学研究に使用することについてご同意をいただいた患者さん

- ・「消化器疾患および乳腺疾患における発現解析研究」
(承認番号：22-12-0707)
- ・「切除組織を用いた大腸腫瘍の生物学的特性解明研究」
(承認番号：21-14-0806)
- ・「消化器疾患における遺伝子発現、変異、エピジェネティクスの解析」
(承認番号：26-17-0909)
- ・「消化器疾患における遺伝子変異・発現・制御機構の解析」
(承認番号：2019-15-0718)

2. 研究目的・方法

本研究では、遺伝子そのものや遺伝子によって作り出されるRNAやタンパク質の状態の違い（発現量や発現場所の違い）を見つけだし、胃や腸内の微生物との関連を明らかにすることにより、消化器疾患の予防法や新たな治療法開発に結び付けることを目的としています。そのため、消化器疾患の手術や内視鏡検査を受けられた患者様の上記の試料・情報を利用させていただき、試料から抽出したDNA、RNAを解析し、診断や治療に有用な遺伝子やタンパク質の変化を探索します。

研究期間

許可日～2029年6月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：診療にて検査のために採取した手術検体、内視鏡検体、血液で使用しなかった残余

情報：診療情報

4. 外部への試料・情報の提供

試料・情報の授受は、セキュリティ対策を施した上で行います。試料・情報には患者さんを直ちに特定できる情報はつけず、研究用IDをつけて利用させていただきます。

対応表は、提供元機関が保管・管理します。

5. 研究組織・研究責任者

試料・情報の提供元機関及びその長：東京大学医科学研究所 フロンティア外科学分野・教授 志田 大

代表研究機関

| 研究者氏名 | 所属分野等 | 職名 |
|-------|-------------|-------|
| 志田 大 | フロンティア外科学分野 | 教授 |
| 柵山 尚紀 | 附属病院 外科 | 講師 |
| 門間 聡子 | 附属病院 外科 | 助教 |
| 向山 順子 | 附属病院 外科 | 助教 |
| 今泉 潤 | 附属病院 外科 | 助教 |
| 伊藤 豪 | 附属病院 外科 | 専攻研修医 |

共同研究機関

| 共同研究機関名 | 研究責任者名 |
|------------------------------|--------|
| 国立がん研究センター研究所 がん RNA 研究分野 | 吉見 昭秀 |

業務委託

| | |
|----------|--------------------------------|
| 委託先名称： | フィルジェン株式会社、フナコシ株式会社、LSI メディエンス |
| 業務内容： | 遺伝子抽出・発現解析・変異解析 |
| 契約締結の有無： | 有 |

6. お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報を守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター 研究所がん RNA 研究分野 吉見 昭秀
03-3542-2411 (内線 4281)